

いけはるいんちょうのゆんたく

もう8月も終盤。夏休みも終わり、太陽の時間も短くなってきました。しかしながら、相変わらず暑い日が続いていますね。石垣島は沖縄本島と比べても暑く、秋の訪れはまだ先のようです。

先日、経営学者として有名なドラッカー氏の本を読みました。内容は難しく十分に理解できたとは言えませんが多くのことを学びました。その一つは病院の使命は何かということです。私たち多くの医療人は「病院は病を治す場所である」と認識しています。少なくとも私はそう認識しておりました。しかし、彼は本の中でこう教えています。「病院のミッションは患者を安心させること」であると。残念ながら医学・科学が発達した現在でも治せない病も多く存在します。風邪でさえ治すことはできません。私たちは風邪による症状を少々和らげるためのお薬を処方するだけなのです。その時に一言「風邪ですからすぐに良くなりますよ」と安心させることこそが重要なのです。病が治せないとしても安心を与えることはできるのです。たとえガンの末期であったとしても勇気づけ、安心を与えることはできるでしょう。

これまで私は「病を治す」ことに気を取られ、患者さんの求めているものに全く気付いていませんでした。これからの時間を患者さんの声に耳を傾けながら歩みたいと反省させられました。この年になってもまだ反省し悩み続けております…



院長 池原 康一

『安心というサービス』

離島研修 スタート (宜しくお願ひします！)



まつい けんじ
松井 賢治

所属病院：湘南鎌倉総合病院
出身大学：東京大学
期 間：9月1日～9月30日
趣味・特技：サッカー・ラジオ視聴
やりたい事：ダイビング
離島めぐり

その他一言：貢献できるよう精一杯がんばります。
いろいろと教えて頂けたら幸いです

島の医療に貢献したい！ 期待の看護学生



守里会看護福祉専門学校 (香川県) 大見謝君 (沖縄県出身) が夏休みで帰省。来春、新卒 (名張市立看護専門学校) の中井さん (三重県出身) が施設見学のため来院しました。「島の医療貢献したい」と意欲満々！
笑顔の素敵なふたりの入職を楽しみにしています。



～ 離島診療所への挨拶訪問 ～



竹富診療所

八重山諸島は石垣島周辺に西表島・小浜島・竹富島・黒島・鳩間島・波照間島・与那国島など多くの離島を有しています。今回は各島々で住民並びに観光客の医療を支える診療所で医療資源の限界と救急対応に不安を抱えながら奮闘する先生方を訪問してお話を伺いました。



島内移動には水牛車もあるが、今回はチャリで



竹富町立黒島診療所 崎原永作先生 (←左) …私は沖縄地域医療支援センター (センター長) に属して、離島医療に取り組んできました。徳洲会病院との連携も重要となります。離島医療は沖縄県においては重要課題のひとつです。



県立八重山病院付属: 大原診療所 砂川惇司先生 (←左左) 西表西部診療所 横山和樹先生 (←左右) 小浜診療所 山田拓先生 (写真なし) …私達は県立病院付属ですが島民の中には徳洲会病院へお世話になっている方もいます。今後とも良い連携を取っていきましょう。



池原院長 黒島に行く

県立八重山病院付属: 小浜診療所 山田拓先生
竹富町立竹富診療所: 石橋興介先生
おふたりとの写真撮影を忘れてしまい掲載できませんでした。大変申し訳ありません。
未訪問先は波照間島・与那国島です…日程調整中！



秘境 西表島
大見謝川で
ひと休み

